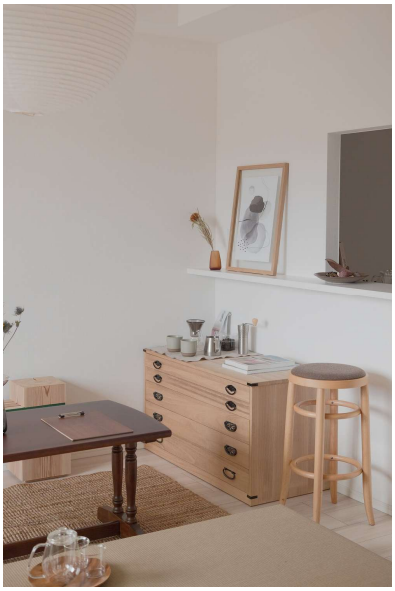
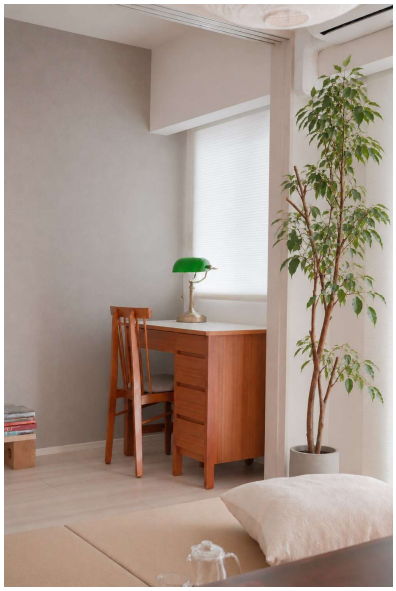
別　紙

今回の部屋のコーディネート

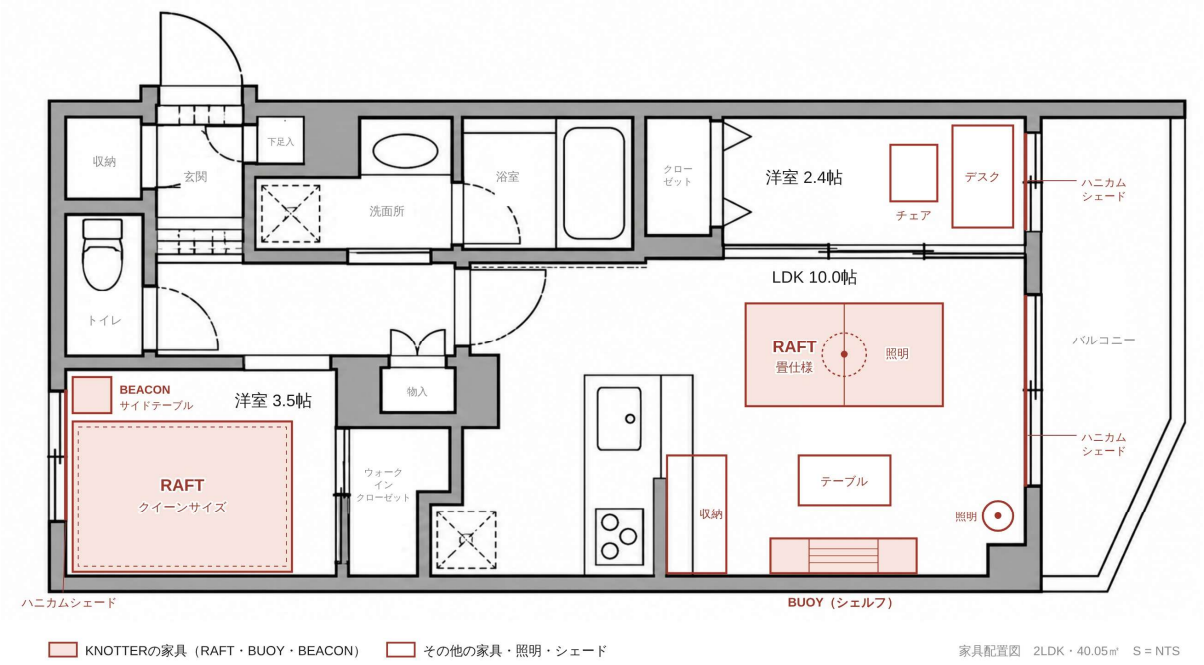
1. **RBS（Restation Bed-System）で、インテリアの骨格をつくる**
   この部屋の家具は、KNOTTER の「旅する家具」で構成した RBS を骨格としています。休息の場所を部屋ごとに定め、そこから家具と暮らしがまとまるようにしました。
2. **畳仕様に設えた RAFT で、面積以上の広がりを**
   10.0 帖の LDK の中心に、畳仕様に設えたベッドフレーム「RAFT」を居間ベッドとして置きました。四方から使え、座る、くつろぐ、横になることを受け止めることで、回遊性のある空間をつくります。エクストラベッドとしても活用できます。
3. **畳をキーマテリアルに、静けさと落ち着きを**
   シェルフ「BUOY」やサイドテーブル「BEACON」など、家具を畳と同系色の木でまとめ、和紙の照明とハニカムシェードのやわらかな光で、落ち着いた室内に整えました。
4. **クイーンサイズの RAFT で、質の高い休息を**
   3.5 帖の洋室には、クイーンサイズの「RAFT」を置き、眠ることに集中できる寝室にしました。マットレスの代わりに畳を敷けば、布団で眠る暮らしや、座卓を置いてくつろぐ過ごし方にも切り替えられます。2.4 帖の洋室にはデスクとチェアを置き、休む場所と働く場所を分けています。

左・中央：LDK（畳仕様に設えた RAFT、和紙の照明とハニカムシェード）　右：LDK から見た洋室（2.4 帖）



クイーンサイズの RAFT は、マットレスでも、畳を敷いて布団やくつろぎの場としても使える（イメージ）



家具配置図

今回導入した KNOTTER の家具

LDK	ベッドフレーム｜RAFT（畳仕様に設え）
洋室（3.5 帖）	ベッドフレーム｜RAFT（クイーンサイズ／畳仕様にも対応）
収納	シェルフ｜BUOY
サイド	サイドテーブル｜BEACON

いずれも、日本建築の継手・仕口を再解釈した構造により、釘・接着剤・工具を使わずに何度でも分解・組立ができます（特許登録済）。コンパクトに梱包して運べるため、住み替えの際も次の住まいへ移すことができます。節のある遊休木材を活かした無垢材は、使うほどに色艶を増していきます。役目を終えた家具は回収・補修し、次の使い手へと巡らせます。



KNOTTER の家具のディテール。左から、継手とバンド／畳仕様に設えた RAFT／クイーンサイズの RAFT と BEACON

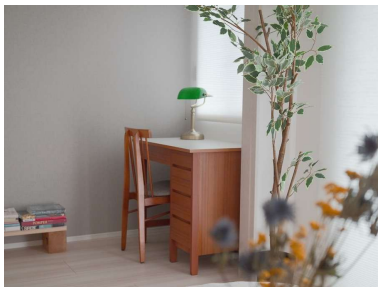
KNOTTER の「旅する家具」と、KARUKURA が選んだリユース家具

今回の住戸では、KNOTTER の「旅する家具」を空間の骨格としながら、KARUKURA が選定したリユース家具を組み合わせ、一つの暮らしとしてコーディネートしました。使い手や場所を変えながら巡ることを前提に設計された家具と、すでに誰かの暮らしを支えてきた家具。それぞれ異なる背景を持つ家具が、同じ住空間の中で自然に調和しています。

家具を新しくそろえることだけが、心地よい暮らしをつくる方法ではない。今回の RESTATION は、そんな KARUKURA の考え方を形にした一室でもあります。



リユース家具のテーブル



デスクとチェア



リユースの桐箪笥

※写真の食器・花器・書籍などの生活小物・装飾品は撮影用のステージングであり、実際の提供物には含まれません。

KARUKURA のこれまで

2026 年 7 月、京浜急行電鉄、京急不動産、SII、セカイズの 4 社は、リユース家具・家電を活用した「サイクルアップ型」賃貸住宅モデルの実証開始を発表し、同年 8 月 14 日にプライムネクサス大鳥居 Bell court（東京都大田区）の 3 室で入居を開始しました。今回の Air court の一室は、その取り組みに続く住戸です。

KNOTTER の取り組み

プライムネクサス大鳥居 Bell court の 1 室には、以前より、KARUKURA にて KNOTTER の家具を導入しています。今回の Air court の 1 室では、その実績をもとに、RESTATION のコンセプトから両社でつくりあげました。

KNOTTER は、2025 年の大阪・関西万博にてフィリピンパビリオンの展示什器とオフィス家具を、循環を前提にオーダーメイドで設計・製作しました。会期後は解体・梱包され、フィリピンで再び使われています。2026 年 4 月にはクラウドファンディング「Makuake」でベッドフレーム「RAFT」を発表し、応援購入総額 6,136,400 円、追加分を含む 120 台が完売しました。家具付き賃貸は、こうした「使い巡る」家具の取り組みを、住まいへ広げる場でもあります。

両社のアプローチの重なり

KARUKURA

「いつかの暮らしを、いまの部屋に。」中古家具の調達・選別・リメイクから空間コーディネートまでを一体で担い、住む人をひとり思い描いて部屋を仕立てる SII のサービスです。家具は持たず、暮らしの節目には部屋ごと替えられる。部屋を彩るのは、中古家具をアップサイクルした一点もの。大切に使われてきた家具は、次の部屋でまた誰かの暮らしを支えます。

KNOTTER

建築家を中心とするチームが立ち上げた、家具・建築のブランドです。日本の伝統構法を再解釈し、工具を使わずに何度でも分解・組立ができる「旅する家具」をつくっています。循環に伴うコストを最小限に抑え、人・場所・用途を巡るたびに価値が積み上がる「使い巡る」社会を目指しています。

循環を価値として捉え、家具を次の人や次の場所へ巡らせていくという考え方が重なり、このプロジェクトは始まりました。

KARUKURA 公式サイト：https://karukura.netlify.app

住戸概要

物件名	プライムネクサス大鳥居 Air court
所在地	東京都大田区東糀谷 4 丁目 9-9
交通	京急空港線「大鳥居」駅 徒歩 7 分
建物	RC 造 5 階建て・総戸数 44 戸（2026 年 7 月竣工）
間取り	2LDK・40.05 ㎡（LDK 10.0 帖・洋室 3.5 帖・洋室 2.4 帖）
コンセプト	RESTATION（rest + station）
完成	2026 年 10 月 20 日
入居・内覧	ご入居決定につき、現在募集は行っておりません。